



2004.10.25

# かんだ

No.81

あなたと議会をむすぶ GIKAI・MAGAZINE

KANDA TOWN

## こんにちは 議会です



苅田小学校運動会

### 9月定例会

委員会報告	P4 ~ 6
一般質問9人登壇	P7 ~ 16
カメラ見て歩き	P18 ~ 19



# 台風18号

## 条例・補正予算・人事案件 など31件可決

9月定例会は6日から27日まで会期22日間開催

# 災害復旧に補正予算追加

9月7日町内において最大風速30メートルを観測し、  
暴風、大雨により大きな被害が続発、一日も早い復旧を  
72,229千円計上

### 主な復旧費

- ・新津中学校体育館屋根補修工事
- ・中央公民館・体育館等の補修工事
- ・災害廃棄物処理及び運搬委託料など



↑ 稲の被害状況



↑ 新津中学校体育館



# 「化学弾」無害化処理に向け作業開始

平成12年11月に「化学弾らしきもの」が苅田港において発見されて以来、港を利用する漁業関係者や企業関係者の安全と港の利便性のためにも、国、県に対して「速やかに安全に処理する要望」を行って来たが、いよいよ10月4日より爆破・燃焼方式で無害化されることになった。



← 化学弾処理施設

国際機関の  
苅田港査察

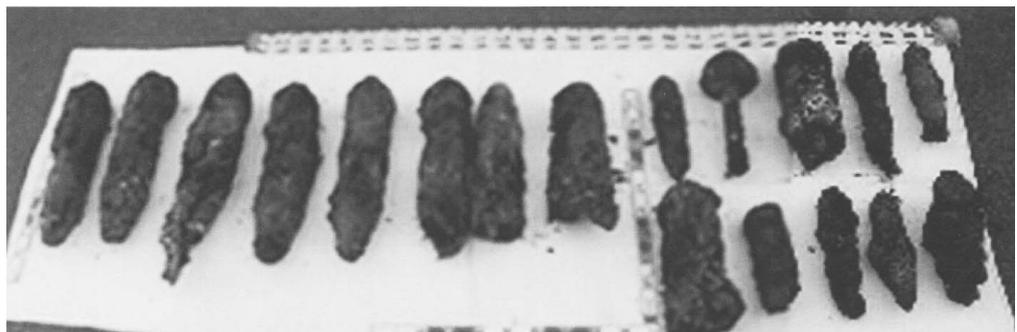
**外務省「指摘なし」**

事務官 毒ガス弾爆破を確認

化学兵器禁止機関（O）の苅田港で先月27日に引  
PCW、本部オランダ）き揚げられた旧日本軍の  
が4日に始めた、苅田町 毒ガス弾38発と無害化処

理施設の査察について、  
同行した外務省の担当者は  
4日、同町で記者会見  
し、「いまのところ、査  
察団から特別な指摘はな  
かった」と説明した。  
同省生物・化学兵器禁  
止条約室の飼持暢子事務  
官によると、査察団は同  
日実施した毒ガス弾の爆  
破をモニターで確認した  
ほか、同弾の腐食具合な  
どを見るなどした。処理  
を担当する防衛庁の担当  
者も立ち会った。査察は  
週末まで続けられる。  
苅田港周辺では00年11

→ 陸揚げされた化学弾



# 決算委員会報告

平成15年度決算特別委員会

委員長 **富 安 正 直**

## 付託案件

平成15年度一般会計決算の認定ほか13件で、慎重審議の結果、全議案を承認した。

## 主な質疑

### 一般会計決算

行政改革の取り組みによって人件費等で前年度対比でどのくらい効果が出ているのか。

- Q** 一般会計で1億3500万円程度の効果が出ている。
- Q** 公用車の集中管理体制での効果は。
- A** 12年度末の93台から79台まで減らすことが出来た。今後も集中管理を行い、削減する方向で進める。
- Q** 土地開発公社補助金の見直しは。
- A** 平成17年3月には存続か廃止の方向付けをする。
- Q** かんだ号をもっと町民が使いやすいようにできないか。
- A** 今年の10月をめどに新しい規程での運用を考えている。
- Q** 敬老会を元のように盛大に全体で行えないか。
- A** 現状に賛成、反対の両意見がある。今のところは現状のままを進めていく。
- Q** 火葬場の炉の耐用年数と今後の対応は。
- A** 耐用年数は16年で現在20年が経過している。ただ使用に関しては問題なく今後も補修しながら対応していく。
- Q** 土地改良区補助金の使途は。
- A** 山口ダムの受益者負担の償還金が主である。
- Q** 公園のトイレなどの整備計画はどうなっているのか。
- A** 年度内に1個ずつはトイレを整備していく方針である。
- Q** 小学校に冷暖房設備を導入できないか。
- A** 教育委員会とも相談しながら検討していく。
- Q** 校舎対震度調査結果とその対応は。
- A** 苅田小学校体育館が不適格に近く、17年度予算において対策費を計上する予定である。
- Q** マラソン大会について以前の商店街を通るコースに戻せないのか。
- A** 昨今の交通事情もあり、警察との交渉も難航している。体育協会とも協力しながら実現に努力していく。
- Q** 空港開港にあわせて空港連絡橋を使ったマラソン大会ができるか。
- A** 50周年特別事業の一環として実現したいと考えている。
- 国民健康保険特別会計決算**
- Q** 減免制度の充実は。
- A** 災害の被災者や所得が激減した方への対策は検討していく。
- Q** 保険料の88%という低い収納率への対策は。
- A** 主に低所得者の収納率が伸びていない。対策は講じているがなかなか成果が上がらない。
- 奨学資金貸付金特別会計決算**
- Q** 滞納者対策として、保証人から返済してもらっているか。
- A** 本人、親、その後に保証人の方に督促を行っている。
- 学校給食事業特別会計決算**
- Q** 完全委託を考えているか。
- A** 法律で栄養士の配置を義務付けられており、完全な民営化はどの市町村も不可能である。
- 水道事業会計決算**
- Q** 二崎浄水場の改修は。
- A** 18年度には建て替えざるを得ないと考えており、課題として料金改定が挙げられるが、最少限度に抑えるよう努力していく。

## 平成15年度会計決算額

(単位：円)

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度繰越財源	実質収支額	
一般会計	12,132,810,720	10,955,966,157	1,176,844,563	44,778,150	1,132,066,413	
特別会計	国民健康保健	2,463,774,939	2,563,036,407	△ 99,261,468	0	△ 99,261,468
	老人保健	3,215,555,693	3,256,100,287	△ 40,544,594	0	△ 40,544,594
	介護保健	1,523,313,052	1,523,037,226	275,826	0	275,826
	土地区画整理事業	88,011,214	77,794,214	10,217,000	10,217,000	0
	奨学資金貸付金	32,425,225	29,096,442	3,328,783	0	3,328,783
	学校給食事業	271,962,333	271,962,333	0	0	0
	住宅新築資金等	30,697,490	30,697,490	0	0	0
	霊園事業	8,337,759	7,854,273	483,486	0	483,486
	公共下水道事業	998,585,247	996,503,397	2,081,850	0	2,081,850
	苅田臨空産業団地開発事業	436,447,262	436,447,262	0	0	0
	農業集落排水事業	230,736,664	230,736,664	0	0	0
	京都郡公平委員会	573,034	524,360	48,674	0	48,674
	計	9,300,419,912	9,423,790,355	△ 123,370,443	10,217,000	△ 133,587,443
合計	21,433,230,632	20,379,756,512	1,053,474,120	54,995,150	998,478,970	

# 委員会報告

総務常任委員会

委員長 **三原 茂**

## 付託案件

- 補正予算 二件
  - 条例改正 一件
  - 契約の締結 一件
  - その他 一件
- 慎重審議の結果、全議案を可決した。

## 議案と主な質疑

### 一般会計補正予算(所管部分)

- Q** 情報サービスの端末機を庁舎内に設置し町民が様々な情報を得られるようになっていくが、情報の内容は。
- A** タッチパネル式のパソコンであり、インターネットに接続することにより世界的にあらゆる情報が収集できる。
- Q** 役場内だけの設置になっているが。
- A** 今回の利用状況を踏まえ、コーナーの増設、又、公民館への設置も検討していく。
- Q** コミュニティバスを導入した場合、赤字が予想されるが、どの位の赤字を見込んでいるのか。
- A** 便利で使いやすいルート設定を検討し、多くの町民の皆さんに利用していただき黒字になるよう取り組んでいく。
- Q** コミュニティバスの導入目的として交通空白地域の解

消、高齢者、身体障害者等交通弱者に対する移動の確保、環境負荷の軽減となっているが、それ以外の付加価値は考えられないか。

**A** 今後、地域振興券をつくり、商店街の活性化につなげていく。

**Q** バスの利用者に対する減免措置は。

**A** 基本料金は1000円で考えており、高齢者、身体障害者に対する減免については検討していく。

### 京築地区水道企業団を組織する市町村数の増加及び京築地区水道企業団規約の変更

**Q** 今回、犀川町が加入することにより、どう変化があるのか。

**A** 負担割合が緩和され、出資金などの軽減も考えられる。

### 工事請負契約の締結

役場庁舎内の空調設備の改修工事を施行するものである。

**Q** 提案方式により10社を指名し7社が辞退した理由は。

**A** 各社それぞれの事情での辞退であり理由は把握していない。

厚生文教常任委員会

委員長 **川上 公美子**

## 付託案件

- 補正予算 五件
  - 条例改正 一件
- 慎重審議の結果、全議案を可決した。

## 議案と主な質疑

### 一般会計補正予算(所管部分)

- Q** 心身障害者(児)対策事業での登録者は何人か。
- A** 心身障害児放課後サポート事業は登録が8人、言語聴覚機能訓練事業は11人である。
- Q** この事業の委託先は。
- A** 本年4月からNPO法人「夢ニティハート」に委託している。
- Q** 児童生徒の安全対策に伴う防犯ベルの購入については、小学生全員と中学生の女子生徒を対象としているが、代金については半額の助成を町が行うことになっているが、無料配布にはできないのか。

**A** 自分の子どもは自分で守るということが基本であり、安全対策はもちろんですが、休日時の安全対策も必要となりますので、保護者の方へ半額負担をお願いするものである。

**Q** 本年度予算では学校関係の予算が減額になっているが。

**A** 教育予算総体では1割の減額である。

**Q** 現在改装している中央公民館の中ホール使用料は。

**A** 検討中である。



機能訓練室

# 委員会報告

産業建設常任委員会

委員長 武内 幸次郎

## 付託案件

補正予算 五件  
 契約の締結 二件  
 町道路線の認定 一件  
 慎重審議の結果、議案一件を否決、その他の議案は可決した。

## 議案の主な質疑

### 工事請負契約の締結

Q 苅田町大字苅田字松浦地内、苅田臨空産業団地造成（D街区）工事を施行するものである。

A 落札価格に大きな差が出る要因は、

Q 業者が落札価格で工事ができると判断し、競争入札で競い合った結果である。

A 低価格での落札により安全管理、品質管理等に問題が出てくるのではないか。積算根拠は。

Q 低価格と決めつけ議論がなされているのはおかしい。落



臨空産業団地

札率は68・3%であるがコンサルタントに確認したが十分出来るとのことであった。過去に58%や45%という事例もあつたが予定通り施行がなされている。

Q 地場の育成の観点からも入札制度の見直しが必要ではないか。

A 改革案として必要に応じて現場説明をやめるなどの措置を行って来ているが、今後、最低制限価格についても価格公表をしない形で行うように検討をしている。

## 工事請負契約の締結

団体営のため池等整備事業として、二又池改修工事を施行するものである。

Q 町のAランク業者は16社と聞いているが、今回の工事はAランクの業者は13社参加している。先の議案の工事では参加業者は10社であり、業者数がまちまちである。基準を作ってはどうか。

A 手持ち工事、又、落札工事の累計や指名しての落札回数など精査して行っているが委員会の意見も踏まえ、しっかりとした基準づくりやランクの見直しも含め検討していく。



二又池

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は12月です。

一般質問は12月13日・14日・15日(3日間)の予定。

開催時間/10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。

問い合わせは議会事務局まで(☎093-434-1981)

9月議会は73人の傍聴者がありました

9月定例会の一般質問は、14日・15日・16日に9人が登壇しました



長井 孝篤 議員

一、今後の財政運営について

一、苅田町の湧水対策について

一、小波瀬土地区画整理事業の  
総括



常廣 直行 議員

一、将来を展望する町づくりに  
ついて

一、行政改革について

一、自立した町づくりについて



三原 茂 議員

一、町民から信頼される町政を  
目指して

一、これからの町づくりの課題  
について



坂本東二郎 議員

一、個性のある町、苅田を目指  
して

一、災害に強い町づくりに  
ついて



川上公美子 議員

一、基本的人権の保障で町民の  
声が届く町政を

一、実効ある環境基本計画の実  
行を

# 一般質問

## Q & A



梶原 弘子 議員

一、美浜原発事故からみる火力発電  
所の危険性と対処について

一、苅田港から引き揚げられた化学  
弾処理の進捗状況について

一、災害から町民を守る体勢づくり  
は万全なのか

一、介護保険はどう変わるのか

一、町行政は町民に親切に対処して  
いるか



武内幸次郎 議員

一、企業誘致に向けての取り組  
み状況について

一、水源対策について

一、スポーツ振興について

一、目標人口に向けてのその後  
の取り組みについて

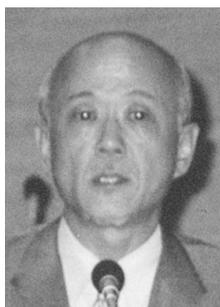


小山 信美 議員

一、健康教育問題について

一、高齢社会が望む環境づくり  
について

一、若年者雇用対策について



作本 文男 議員

一、適正な補助金の支出につい  
て

一、区の助成金について

一、歯科検診について



## 行政改革の成果を活かし、財政基盤強化を

### 更なる努力を行う

**Q** 伊塚町政が取り組んできた行革の成果が税増収と相まって財政の大幅好転の形で現れてきている。これをどのように評価するか。

**A** 平成11年から行革、平成13年より財政健全化に取組み、職員の31人削減、大型工事の抑制等努力を積み重ねてきた。税収面でも、九電よりの固定資産税（約10億円）、日産より法人町民税（約13億円）の増収があり、財政面で大きく改善された。

**Q** 具体的な財政指標の推移は。

**A** 財政力指数がH12年<sup>1.04</sup>、がH16年<sup>1.35</sup>、経常収支比率は45年前は90%を上回っていたが、今年度70%を切る見込み、いずれも大幅改善の見通しである。（単年度ベース）

**Q** 「はこも」への投資（投

資的経費）は普通25～30%であるのに対し苅田町ではこの5年間20%以下に抑えられてきた。財政の再建上有効であったがこれからの方向は。

**A** 苅田町では過去「はこも」建設で投資的経費が25～40%とかさんでいたが、財政再建上この5年間絞ってきた。財政も好転しており、今後町の将来発展の為に経費対効果の大きいものから必要な投資を行って行きたい。

### 企業誘致の積極推進を

**Q** 苅田町は当面合併せず単独でいく方向であるが、その為にも更なる行政基盤の強化が大切、企業誘致が最も効果が大きいと思われる。その対策は。

**A** 企業誘致にはトップセール

### 長井 孝篤 議員

と担当する人材の育成が重要であり外部からの人材登用を含め積極的に行う。

更に既存の企業に対しても活発な企業活動が行えるよう基盤整備を町が実施、支援して行きたい。

### 渇水対策の強力実施を

**Q** 苅田町は水に弱いが定評で、企業誘致の弱点にもなっている。町でプロジェクトチームを発足させ水源対策の具体的な検討に入っているが、その内容は。

**A** ①山口ダムを県より分譲を受け浄水用水利権（現在2000%）を大幅に増やす。  
②北九州市より渇水時緊急給水を受ける、以上2案の実現にむけて現在精力的に推進中。

**Q** 山口ダムの農業用水の利用状況は。  
**A** 平成13年まで使用されてきたが、その後ほとんど利用されていらない。  
**Q** 農業用に使用されていない

**A** 実態からすれば、山口ダムの貯水は全量上水用に利用出来るはずだが。  
**A** 水利権は県の河川課が管理しており、善処方について強く要請中である。



取水権が問題の山口ダム

一般質問

# Q 合併「当面単独」 苅田町の将来をどう描くか

## A 合併新法、空港開港を見きわめて



苅田インター(仮称)

### 常廣 直行 議員

**Q** 当面とは、また、方向が変化するのはどのような時か。

**A** 合併新法、空港開港を見て、その後一、二年を見極めて対応を間違わないようにしていく。

**Q** 工業団地の企業誘致の進捗状況と見通しは。また、北九州と競合するための施策は。

**A** 自動車関連企業、技術の集積を武器としたい。

### 急がれる第二次行政改革と組織体質の改善

**Q** 報告が9月議会に間に合わなかったのは何の原因だったのか。

**A** 実施検討項目の具体的状況を、再度精査している。

**Q** 昇級試験制度導入の背景と、目的、成果と問題点は。

**A** 若い人やる気を出してもらう為に導入。今後、受験拒否者について検討していく。

**Q** 昇級試験を論文形式にした理由と採点基準は。

**A** 町にとってメリットをアピールすることが必要。四人の検査官で点数の基準を作って評価。

**Q** 正職、臨職、パート、派遣への仕事の分担基準はあるのか。

**A** 基準といわれると難しいが資格がいる場所などを考慮。

### 軌道に乗らない地域コミュニティ活性化事業

**Q** 事業の遅れの原因は。

**A** 校区内に区がたくさんあるところは調整がつかなかった。

**Q** この事業に予算をつけて地域に丸投げしても協働事業とはいえないのではないか。

**A** 役場の地域に住む職員が一緒にやるのが特徴だがPRを広げていきたい。

**Q** コミュニティバスの進捗状況を伺いたい。

**A** 平成17年4月に実証運行、10月に本格的運行を予定。検討委員会で進めている。

**Q** 検討委員会に地元の自動車メーカーがあるながら専門家が入っていないのはなぜか。

**A** メーカーの人を入れる話はなかった。アドバイザーなどで話を聴く機会もあると思う。

**Q** バス選定参考例の中に地元メーカーの車がないのはなぜか。

**A** 車両選定は私から(町長)日産自動車にすべきだと言った。日産の車が走るように今後やっていきたい。

### 盆踊り大会廃止の背景

**Q** 盆踊り大会廃止までの論議内容を具体的に伺いたい。

**A** 民間で行えないか相談したが移行できず今年に廃止とした。

**Q** 盆踊り大会は慰霊祭の後に行われる意義深いものだが、本当に必要なかと思っっているのか。

**A** 大切なイベントだと位置付けている。来年は民間主導でそれを町がバックアップしていく。

**Q** 行政でしか出来ないもの、民間にお願い出来るものを検討して進めるべきだ。最後に来年の盆踊り大会はやるのか。

**A** ぜひ、盛大に地域おこし、まちづくりにつながる盆踊り大会にしたいと思っっている。

# Q 町民から本当に信頼される町政を行えているのか

A まだまだ充分でない

三原 茂 議員

## 町長の政治姿勢について

Q 様々な政策・事業を立案、実施、転換、廃止する際町民に対する説明が充分になされてきたのか。

A まだまだ不十分だ。

Q 合併問題に関し、平成15年12月議会に質問した際16年3月までに議会と相談をして、その方向性を決めたいと町長は答弁したが12月以降どういった形で議会と協議し、方向性を決められたのか。

A 16年2月に議会が特別委員会を立ち上げたのでその動きを見ながら検討していききたい。

Q それは詭弁であり、すれ違いだ。ここらあたりで執行部と議会との連携関係が崩れている。議会が合併委員会を立

ち上げた経緯は町長の答弁とは違う。町長はある時期に単独ありきで動いていたと思われる。この事が議会軽視であり町民無視と言われても仕方がない。合併問題は苅田町の将来を担う最重要案件にもかかわらず、議会・町民に対する十分な説明、議論がなされず中途半端なアンケート及び説明会をした後に勝手に結論づけをした。すなわち町民不在のうちにある程度の方向性を決めた。この事に大きな問題があるのではないか。

Q 当時の理事会に対して、何らかの責任をとらせるべきだし理事会自体もみずから責任とけじめをとって当然だと思

A シルバーとして責任をはっきりさせるように言っている。

Q 理事会の組織に大きな問題点がある。不祥事を起こした当時の副理事長が新たに理事長として選ばれる。選ぶ方も選ぶ方、又受ける方も受ける方。責任を真つ先にとらなければならぬ立場の人が新理事長に選ばれる。これで町長

## シルバー人材センターの対応について

Q シルバー人材センターの公金不正流用に関して苅田町として対応はどのようになされたのか。

A 9月末までに町の監査委員会が疑問を呈している点について理事会から回答があるのでその報告を待つて町としてこの事件をどう判断しどう責任をとるのかきちんとやっていきたい。



がんばる会員のみなさん

の言われる本当に公平な運営ができると思っっているのか。

A 役員人事については、私も疑問に思っていたが理事会の中で決まったことなので。今大切なのは、健全な運営だと思っ。町としてもっ監督・

指導を強めながらやっていきたい。

Q 今回の事件の一番の被害者は誰だと考えているのか。  
A 今回の事件で期待を裏切られた会員の皆様だと思っっている。

一般質問

### 個性のある町、苅田をめざして

#### A どの市町村にも負けない住みよい町をめざす

坂本東二郎 議員

Q 来年の合併50周年を迎えるにあたって、苅田町の50周年を反省総括してみる必要があるのではないか。

A 合併50周年を非常に重く受けとめ、先人の方達が大変苦勞し先見性を持って合併した50年間の歩みをよく総括し評価し今後に向け努力して行きたい。

Q 50年の歴史の中で教育、交通道路体系等、積み残されている問題があり、特に京都峠の開通はいつになるのか。

A 平成17年にトンネルが開通し正式供用開始にはもう一年かかる見通しである。

Q 個性のある、特徴のある苅田町をいかにつくっていくかという観点から50周年だから50団体のNPOをつくる町づくりに対して町民の持っている潜在力をいかに引き出していくかが大事だ。

A NPOを50団体というアイデアを活かし、いろいろな形で合併50周年記念事業を盛り立てていきたい。

Q コミュニティバス導入について賛成という観点から、総コスト的にはどのくらいかかるのか。

A コンサルに需要予測収支バ

ランスを検討してもらっている。概算で一路線当たり、1000万円から2000万円くらいではないか。

Q ミニ公債についてどうなっているのか。

A 来年合併記念事業としてミニ公債を発行したいと考えている。

Q 苅田町としての目的はどうなるのか。

A 資金調達手段の多様化と特に住民の行政への参加意識の高揚を目的としている。

自分のお金を運用しそのお金の行き場所を確認したいという町民意識の高まり等、これをきちつと受けとめてこれからの行政運営やって行く必要がある。

Q 新北九州空港の活性化策の中で一番何が大事かとなるとスターフライヤー社の設立ではないかと思うが。

A スターフライヤー社の設立時に役員が挨拶に見えた。

Q 新北九州空港を母空港とする地元の翼ができれば

ばいいし空の規制緩和政策の中で新設の会社に対して優先枠があると聞いている。時としてスター社に対して出資するつもりはないか。

A 地元の航空会社として育ててもらいたい。出資については、県、北九州市の動向を見ながら苅田町としての態度を決めたい。



上空から見た苅田町

## Q 基本的な人権の保障で町民要求の実現を

### A 幅広く人権問題に取り組む

川上公美子 議員



防犯ブザーを所持する小学生

Q 今、憲法9条といっても知らない人もいます。子ども達に意見表明権と憲法との関係、人権の、もともとの理念を広げてほしい。同和特別事業を他市町村に足並みをそろえる

A 今、憲法9条といっても知らない人もいます。子ども達に意見表明権と憲法との関係、人権の、もともとの理念を広げてほしい。同和特別事業を他市町村に足並みをそろえる

Q 女子中学生を対象に希望者のみ半額負担をさせて支給する予定である。義務教育の子どもを守るために全額町が負担できないのか。

A 予防が最大の危機管理である。防犯ベルを所持し子どもに体験させるために家庭から半額の負担を考えている。

Q 設計変更、遅れに関することと関係係課と協議したが部長会議はしていない。当初簡易軽量エレベーターと言つので地質調査は予定しておらず、設置が遅れた事をおわびする。

Q 障害児の教育を保障するための片島小のエレベーターがやっと夏休みに着工、二学期より使えるという委員会での

A 主体的に自分の身を守るという子どもを育てるためには、他の自治体が全額負担しようが苅田町は半額負担するのが妥当ではないか。

Q 変更があれば、必ず関係者に説明が必要ではないか。

A 具体的な乗入れについてはこれからである。詳細な乗入れについてはこれからである。

Q 福祉バスの機能も含めての循環バスだ。65歳以上の方や障害者に対して減免制度は考えているのか。

A 具体的な乗入れについてはこれからである。具体的な乗入れについてはこれからである。

一般質問

Q 安心して働ける町づくりを

A 企業の安全管理は消防本部が計画的に実施

梶原 弘子 議員

Q 美浜原発事故に関連して火力発電所も安全が問われている。九電火力発電所は大丈夫か、企業内発電所の安全も合わせて自治体は安全対策の徹底が国から言われているようだが取り組みは。

A 苅田発電所の2基の発電機の内、古い方は待機用。これを国から整備を求められている。

Q 企業の安全管理防災は消防本部で各企業と話し合い防災訓練は年2回行っている。

A 化学爆弾処理施設を現地視察して、1000発処理できると説明を受けたが、港に沈んでいる爆弾を早く処理してほしい反面あのような施設は早く無くしてほしいと複雑な思いがある。町長はどう言う方針なのか。

Q 国に対してさらなる探査と一刻も早い処理を求め、苅田港の安全を取り戻したい。

A 台風16・18号で屋根を飛ばされたり農漁業にも被害が出ている。地域によって停電時間が長かったが、広報車を出せなかったのか。家に住めなくなった人達に公営住宅が間に合わなければ、一時的でも民間住宅を借り上げられない

Q 1022人の1人暮らしの高齢者がいる。早めの避難が必要。地域協力など今後の課題だと思うが。

A 又地域防災で各区長の役割が大きいが限度がある。こういう時こそ後片づけなどに町民などを雇用できないか。

Q 国は平成18年に介護保険の改正を予定、高齢者を守る介護保険を望む。苅田らしい介護保険を目ざしてほしい。重度にならない様、軽い方達の素早い予防措置が大切だ。

A サービスの質の向上とこのことで地域包括支援センターで介護予防のマネージメント等を行う見直しにも入っており検討したい。

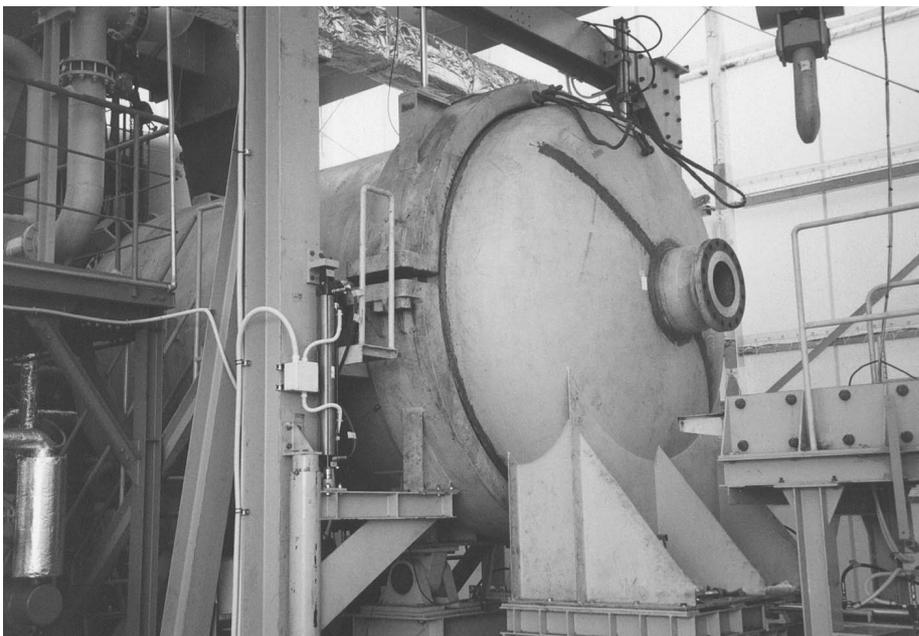
Q 高齢者を家に閉じこもらせない為に商店街に食堂など開く計画はないのか。

A NPO団体等を対象に検討してみたい。

Q 憲法25条で保障されている生存権、介護を受ける権利も高齢者にある。自己責任、自助努力で何とかせよと財政上のねらいで軽度の人達が切ら

れそう。ぜひ町民を守ってほしい。父子家庭問題について条例整備を、又収入の如何を問わず父子家庭の人達に手立てを求め。

A 父子家庭への行政サービスは今学童保育がある、県では日常生活支援事業の実施要綱がある、参考にしてやっていきたい。



化学弾処理施設

## Q この機を逃すことのない取り組みを

A 自立していく上でやり遂げなければならない事業だ

武内幸次郎 議員

### 臨空の企業誘致は

Q 具体的にどのような誘致活動を行っているのか。

A ホームページでの紹介や企業セミナーへの参加、パンフレットの送付などがある。また企業情報をキヤッチするところが大切であり、県や金融機関との連携を密に情報を収集し積極的な誘致活動を展開したい。

Q 優遇措置制度の効果は上っているのか。

A PRはしているが具体的な効果はまだ見えていない。

Q 臨空団地は北九州と隣接しており下水道も未整備であるが強みは地の利と価格であり、そのメリットを十分生かすし精力的な活動が必要である。一案として町長には以前

から言ってきたが、東京等の県の事務所の一角を借り受け情報収集や誘致活動を行っているのかなのか。

A 近隣の各自治体と競合しながら企業誘致に努めなければならぬ立場にあり何らかの手を打つべきというのは当然だと思ふ。現在、東京等に職員を長期出張的に暫く出し状況をみて有効な手を打ちたい。

### 水源対策の展望は

Q 水源対策プロジェクトの答申として短期、中期、長期的な施策の3案が示されたが水不足を解消するにはどの程度の水源が必要と考えているのか。

A 一日の配水量は約1万4000tでその内、約1万tが

今川からの取水である。湯水期には不足するが、その時には山口ダム、井ノ口池からの増水を図っている。それでも5000tが不足するので、

まずこの5000tを早急に確保したい。  
Q 短期計画の山口ダムの譲り受けについては、一、二年で行うとのことであるが見通し

は。

A 河川法の問題が残るが、ぜひ実現したい。

Q 中期計画は北九州市から緊急時の支援であるが水源確保は独自で行い余裕を持つて緊急支援策を考えるべきだ。長期計画である二岐山の貯水池構想はどの程度の水源を考

えているのか。

A 葉山池を拡張し30万t程度を考えている。

Q 将来的な需要を推定して3案でどの程度の水源を確保し、何年間で実現を図ると言った基本的な計画はなされてないのか。

A 委員長に強く申し渡し早急に全体計画をまとめたい。

### スポーツ施策の充実を

Q スポーツ振興を図る上で施設の整備が必要だ。総合運動公園や市民プールなど懸案事項であり、町づくりの観点からも前向きな検討をすべきである。

A 生涯学習審議会や合併50周年の記念行事の考えを合わせ早い時期に計画をまとめたい。



葉山池

一般質問

Q 食育教育と日本型食生活の重要性

A 食育が必要だ。今後の課題である

小山 信美 議員



白川校区の農村風景

Q 未就学児にはどのような指導を行なっているか。

A 健診時に栄養指導をしている。乳幼児時代からの食生活の指導は非常に重要だ。

Q 食材の購入方法は。

A 野菜等は地産産の物を使用。米飯給食を週3回から4回にと協議中である。

Q 黒米や古代米を使ったパン食作りの取り組みは。

A 現在はしていないが今後は検討したい。

Q 地産地消についての取り組みと話し合いは持たれているか。

A 考え方は地元でとれた農作物を供給する考えだ。農政課と生産者のネットワーク化を進め、野菜の供給に努める。

Q 玄米食は抵抗力を高め、お米のうまみは脳を支える。私

たちのDNAと育ちに合ったみそ汁、ご飯、煮物、あえ物、お漬物などを中心とした伝統的な食生活により健康な体づくりができ、脳を育てるといふ日本文化をもう一度見直すべきである。

音響設備の整った会場を

Q 中央公民館の補正予算に対する工事内容と音響効果はどのようになっているか。

A 前席486席、後席524席の間に手動によるアルミパネル板で間仕切る工事そのパネルが吸音材になっている。

Q 15年度の小波瀬コミュニティの利用者は7133名で各会館の中でも最多である。そこで音響設備投資する考えはないか。

A 音楽に適した設計仕様に一応なっているが、太鼓類は自粛してもらっている。

Q 町外を利用している理由は、そこに行くだけですがすべての備品がお金を出せば使用できる事である。当町でもそのような取り組みを考えるべきだと思う。

若年者雇用対策の早期整備を

Q 平成12年の国税調査では労働人口2万9758人に対して、完全失業者910人、その中でも若年者は428人である。この事を知りどう取り組んだか。

A 非常に深刻な問題だと思う。苅田町においてフリーターを少なくするよう若年層の雇用の促進を考えて行く。

Q 若年者仕事サポートセンター（ジョブカフェ）の設置の考えは。

A ぜひ若年者雇用対策を確立していきたい。県とも連絡をとりながらやっていく。

Q 新北九州空港開港にともなう若年者雇用対策と将来的展望は。

A 雇用拡大のチャンスであり努力し、いろんな意味で空港を利用して雇用促進を進めなければならないと思う。

**Q** 使い込み当時の理事が、そのまま理事を続けているが

**A** アドバイスにもかかわらず、非常に遺憾に思う

作本 文男 議員

**Q** シルバーの使い込みについて、5月25日に町の監査結果が出された。5月28日に総会があったが、何ら報告もされなかった。今の組織は一般常識とかげはなれていないか。

**A** 今回の不幸な事件の被害者は一般の会員であり、指導力が足りず残念だ。

**Q** シルバーは一般の民間団体ではない。補助金を出している公共的団体である。強い指導をすべきだ。地方自治法157条で公共的団体を監督すべきだし、補助金の交付規程もある。予算執行に関する町の調査権もある。管理監督もせず補助金を出すのは、違法な公金の支出にならないのか。

**A** 早く健全に立ち直ることを願って補助金を出した。けじめの問題については一理ある

と知っている。

**Q** 今だに損害額も確定してない。二重払いの旅費があり、交通違反の金まで支払っている。町民から預かった税金を補助金として支出するのだから、当然シルバーが過去を反省し改善案を提出し、それを町がチェックし、その後補助金を出すのが常識ではないか。

**A** 町が育成しなければならぬ団体が頑張ろうとしているのを見て決裁した。

**Q** 町は弱腰ではないか。各種団体に対して、強い指導が来ないのは、勉強不足で自信を持った発言が出来ないからではないか。

**A** 指摘に関して、事実を確認して直すべきは直し、不断の努力勉強もやっていきたい。

社協の通勤手当での不正受給はいくらか

26万3914円だ

**Q** どういう申請に基づいているのか。

**A** 本人申請で、自宅から職場に通う距離を提出、支給している。

**Q** 本人申請を受けた社協の管理職はチェックもせずに押印し許可しているのか。

**A** 社協の事務局長に確認していない。

**Q** 社協は運営の殆んどを補助金でまかっている。町民の税金である。議会でも社協の体質を変え、健全な組織にすべく町を上げて取り組んで来た。そのさなかに、不正な事が職員の中で行なわれてい

た。不正受給者3名と管理職の処分は。

**A** 事後の処理、本人の処分等がなされたのか、聞いてない。

**Q** 仕事をしないでという事だ。補助金を出すとこの事は指導監督をする義務があるはずだ。

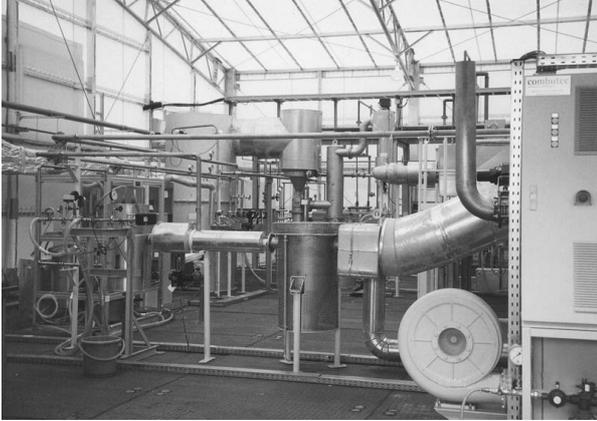
**A** 社協の方に再度確認し報告する。

**Q** シルバー・社協いずれの団体も補助金を支給しているが、大きな問題が起こっている。しかし町は指導・監督も出来ない。伊塚町政には「ケジメ」がない。後世に大きな負の遺産を残さない為にも問題が起きたときにその都度「ケジメ」をつけるべきだ。



# 委員会視察研修

議員視察研修



9月18日 化学弾処理施設

厚生文教常任委員会 視察研修



10月7・8日 学校施設視察

意見書案

保育所運営費及び施設整備補助金削減に反する意見書

可決

地方財政の充実・強化を求める意見書

可決

郵政事業の民営化に対する意見書

可決

国民健康保険制度の改善を国に求める意見書

可決

介護保険の改善を求める意見書

可決

米「改革」を中止し、農家が意欲をもて稲作に取り組むことができる米政策の実現を求める意見書

可決

米軍ヘリコプターの墜落事故に関する意見書

可決

可決された意見書は関係省庁に提出し、その実現方を要請します。

人事案件

苅田町監査委員に

増田哲人氏の選任同意

人権擁護委員に

大重吉子さんの推せん同意

# カメラ 見て歩き



# 神幸祭



長畑区



白石区

# 敬老会



百合ヶ丘区



片島小学校



白川小学校

# 運動会



南原小学校



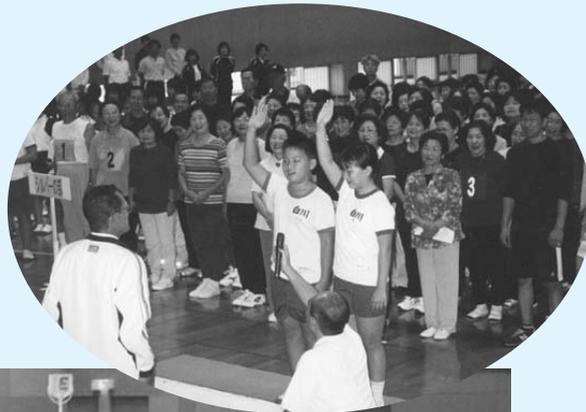
与原小学校

## スポーツフェスタ



第4回子供ソフトバレーボール大会

## 第3回苧田町アジャタ大会



がんばれ地域のサポーター(第五回)

## 等覚寺応援団

### 拠点「空の家」から支援活動

等覚寺応援団 団長 秋山 静美



等覚寺応援団は平成4年6月に等覚寺公民館で産声をあげた。以来12年間活動を続けています。当時団員は65名で団結の目的は過疎化が進む等覚寺地区を経済的、精神的、文化的に発展するように応援しよう、そして団員自らが等覚寺の良さを味わい、体験し活動を展開しようということでした。

応援活動は大きく分けて、労力によるものと声によるものですが、具体的には等覚寺地区で開催される各種イベントに対する支援が一番の活動で、なかでも国指定の重要無形文化財である松会に対する支援が最大の応援活動です。そのほか柵田の保全事業、青少年の野外活動の支援、登山道や古道の保全作業などを行っています。声による応援としては等覚寺のPRですが、毎年2月に苅田町立図書館で「等覚寺の四季」写真展を開催しており今年で第五回目をかぞえています。この写真展では等覚寺の風物を紹介するとともに等覚寺の特産物の宣伝も併せて行い、毎回300人を超える人々の参観をいただいています。

等覚寺の宣伝としても一つ、柵田の保全事業の一環で30アールの休耕田を管理しており、その柵田で、そばの栽培をし毎年一回新そばの試食会を応援団の拠点である「空の家」で「山伏の里等覚寺 究極の有機栽培大試食会」と銘打って開催し、今では応援団独自の最大のイベントとして定着しています。また、松会当日は「山伏流とかくじ蕎麦」ということで参拝者にふるまっています。その美味が知られ好評を得ています。

こうした活動の成果として、等覚寺が苅田町の奥座敷として機能し、大勢の人々が等覚寺を訪れてくれるようになれば団結の目的が達成されるものと思っています。継続は力なりといえます。団員が等覚寺の良さを味わい、体験しながら相互の親睦を深め地域のニーズに応じた活動をして行くことを願っています。



## あとがき

今年、8月アテネオリンピックが開催された。日本選手の大活躍、さらにサッカーでは苅田町出身の大久保嘉人選手が町民に感動を与えてくれました。

また、日本列島に上陸した台風は観測史上最多記録、16号、18号は苅田町にも大きな被害をもたらした。被災者の方々には心からお見舞い申し上げます。

心配された化学弾処理も順調に進んでいるようです。10月11日新北九州空港旅客ターミナルビル新築工事の安全祈願祭が行なわれ、いよいよ平成18年3月の開港にむかいて夢と期待がふくらみます。

広報委員会も更に充実して参ります。みなさまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

(井上 修)

議会広報特別委員会	
委員長	光 永 雄
副委員長	富 安 直
委員	梶 原 弘 子
井 上 文 男	三 原 修
小 山 信 美	三 原 修